

いのちをまもるPARTNERS  
医療安全全国共同行動

# 医療安全全国共同行動 (2<sup>nd</sup> Stage 2011-12) の提案

“いのちをまもるパートナーズ”

患者さんと医療者がともに安心して治療に専念できる環境づくりを

<http://kyodokodo.jp/>



いのちをまもる  
PARTNERS  
医療安全全国共同行動

# 医療安全全国共同行動 “いのちをまもるパートナーズ”

(日本版100Kキャンペーン)

8つの行動目標



医療安全全国共同行動  
100Kキャンペーン  
1. 危険薬の誤投与防止  
2. 周術期肺塞栓症の予防  
3. 危険手技の安全な実施  
4. 医療関連感染症の防止  
5. 医療機器の安全な操作と管理  
6. 急変時の迅速対応  
7. 事例要因分析から改善へ  
8. 患者・市民の医療参加

100万人のいのちをまもろう

# 第1期共同行動 (2008-2010) ができたこと-



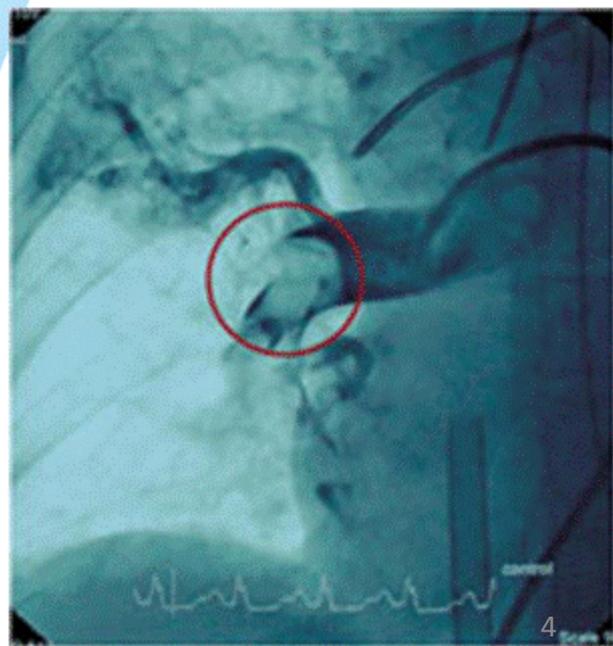
- 参加登録病院 613 施設
- 参加協力団体 82 団体
- 地域推進拠点 6 団体・機関
- 地域推進委員会 1(加盟49団体)



1

- 全国フォーラム 6回
- 地域フォーラム・セミナー27回
- 支援ツール  
ハウツーガイド8点+ビデオ教材4点+82点
- ネット&メール相談室

2



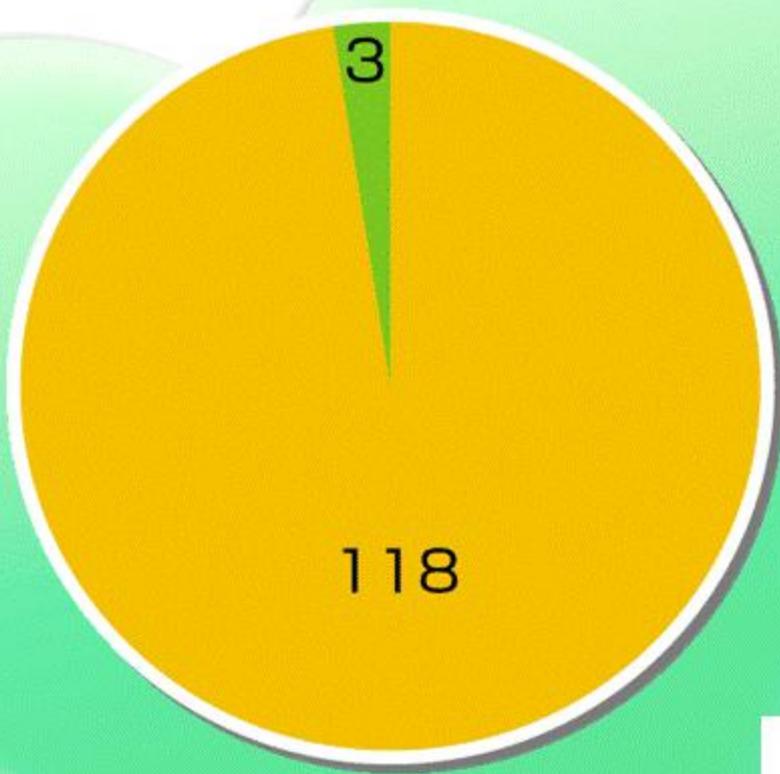
## 推奨対策の実施度 59項目のうち;

- 未実施だった施設の40%以上で浸透が進んだ  
= 29項目
- 浸透済みの施設が  
50%~75% = 8項目 ⇒ 22項目  
75%以上 = 4項目 ⇒ 7項目

3



# 共同行動に参加してよかった



■ はい

■ いいえ

(n=121)

4



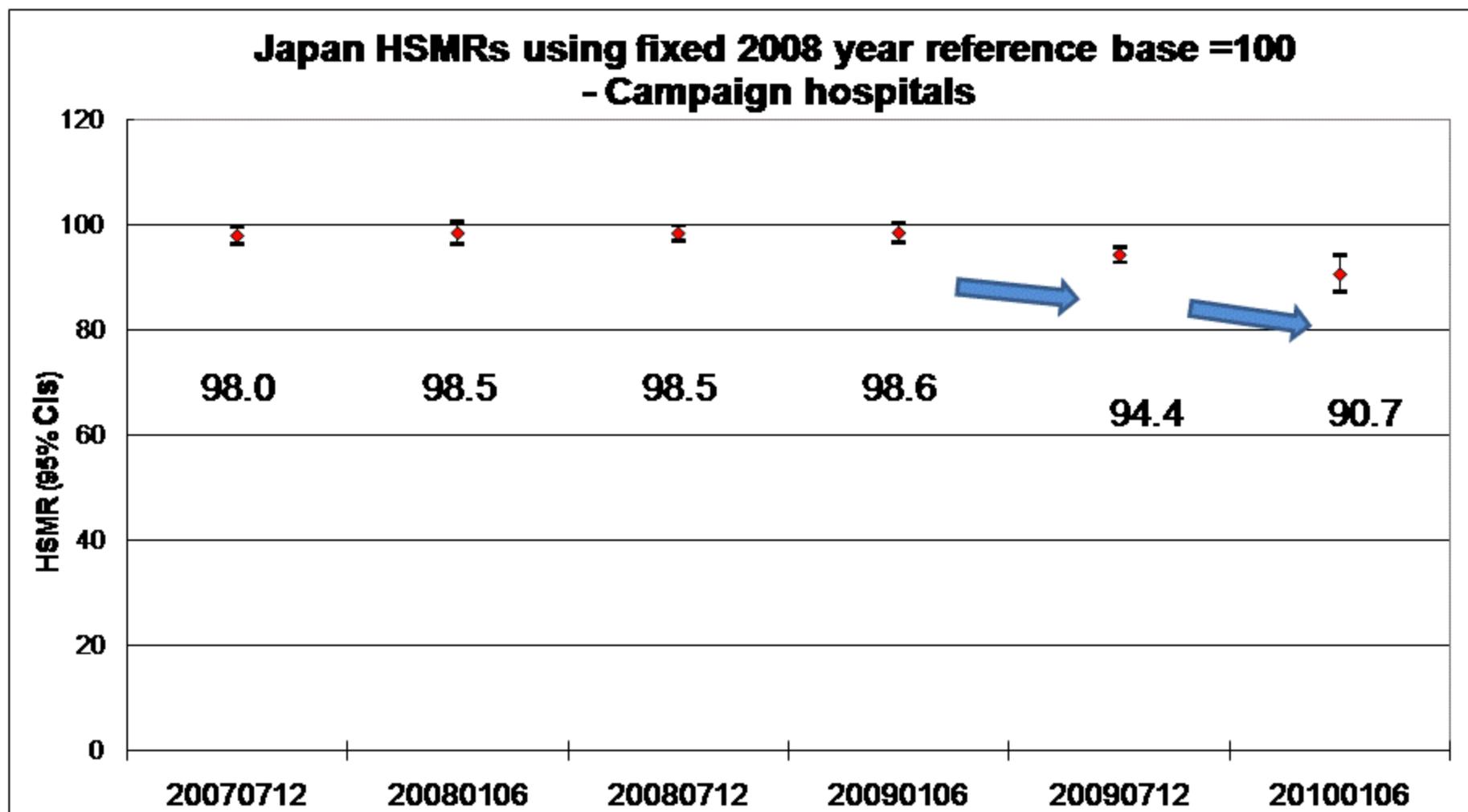
# 標準化病院死亡比の推移 (2008年データを基準とするHSMR)

- 英国王立大学ブライアン・ジャーマン卿による  
(Professor Sir Brian Jarman)
- 共同行動登録病院 147  
未登録病院 38

5



# 共同行動参加登録病院のHSMRの推移



©医療安全全国共同行動企画委員会  
Sir Brian Jarman & ア外カム評価研究班

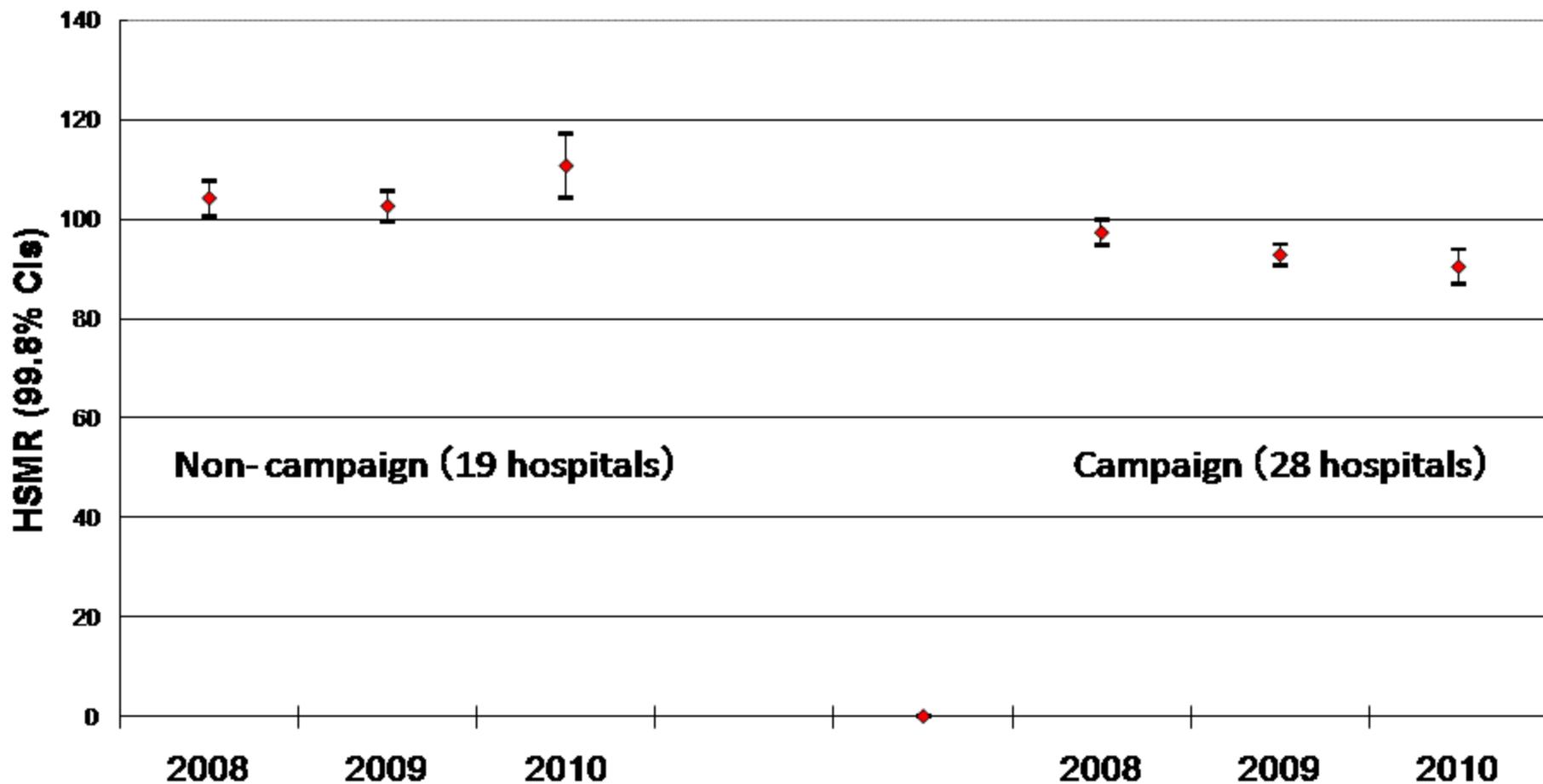
医療安全全国共同行動

147 hospitals

# 2010年まで継続データがある47施設の分析

(Professor Sir Brian Jarman)

Japan 47 hospitals recording data 2008-10 - HSMRs for campaign & non-campaign hospitals (TD model fixed reference year 2008)



©医療安全全国共同行動企画委員会  
Sir Brian Jarman & アウトカム評価研究班

# 【共同行動2011-12】

●実施期間 **2011年1月～2013年3月**

●目的

- 医療の質・安全の向上をめざす取り組みの普及
- 医療の質・安全向上の取り組み成果を可視化
- 医療に対する患者・市民の信頼の向上

# 取組み成果や課題の見える化を

- 目標の達成度や対策の浸透度がわかる指標を決めて取り組もう
  - ➡ いつまでに、何を、どの程度まで達成するか？
- 安全文化を測ろう
- 標準化病院死亡比

# 行動目標

## **S: 安全な手術-WHO指針の実践**

- 1: 危険薬の誤投与防止
- 2: 周術期肺塞栓症の予防
- 3: 危険手技の安全な実施
- 4: 医療関連感染症の防止
- 5: 医療機器の安全な操作と管理
- 6: 急変時の迅速対応
- 7: 事例要因分析から改善へ
- 8: 患者・市民の医療参加

有害事象に関する目標

S. 安全な手術  
- WHO 指針の実践

1. 危険薬の誤投与防止

2. 周術期肺塞栓症の防止

3. 危険手技の安全な実施

4. 医療関連感染症の防止

5. 医療機器の  
安全な操作と管理

6. 急変時の迅速対応

7. 事例要因分析から改善へ

8. 患者・市民の医療参加

組織基盤強化  
に関する目標

# 事業目標

## <医療機関>

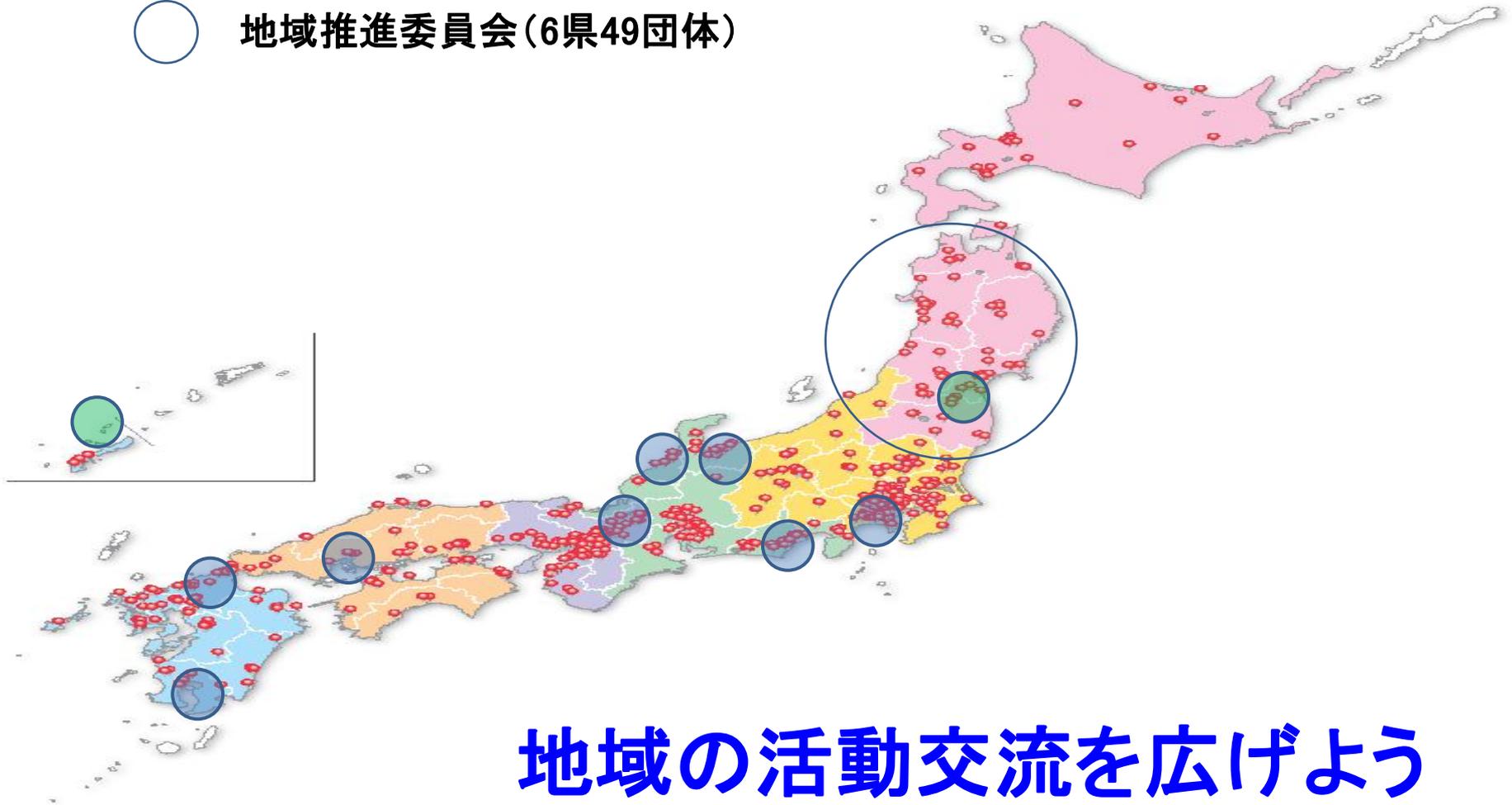
- 安全対策の実施・徹底を通じて有害事象に関わる可  
避死を低減する
- 医療現場に安全の文化を浸透させ、医療の質・安全  
を確保し向上させる組織能力の基盤を作る
- 職種や立場を超えた協力体制を構築する

## <キャンペーン>

- **病院と診療所**の積極的な参加
- 有害事象と有害事象が関わる死亡の低減
- 地域推進拠点の構築

● 共同行動地域推進拠点(8県)

○ 地域推進委員会(6県49団体)



**地域の活動交流を広げよう**

# お薬手帳は一冊で！



医療安全全国共同行動

## 一冊にまとめて安心 お薬手帳！

患者さんが病院や診療所、歯科医院から処方され服用している全てのお薬の情報は「一冊のお薬手帳」にまとめましょう。お薬手帳を見せることで、お薬の重複投与や危険な飲み合わせを未然に防ぐことが出来るからです。お薬手帳を何冊も持って病院ごとや薬局ごとに使い分けけるのではなく「一冊のお薬手帳」にすることが正しい使い方です。



協力 社団法人日本薬剤師会・社団法人日本病院薬剤師会

# 医療安全全国共同行動 運営組織

## 【運営会議委員】

- 高久 史磨 (医療の質・安全学会理事長) \* 共同行動議長
- 上原 鳴夫 (医療の質・安全学会副理事長)
- 高杉 敬久 (社団法人日本医師会常任理事)
- 溝渕 健一 (社団法人日本歯科医師会常務理事)
- 松月 みどり (公益社団法人日本看護協会常任理事)
- 佐藤 秀昭 (社団法人日本病院薬剤師会副会長)
- 本間 崇 (社団法人日本臨床工学技士会副会長)

## 【監事】

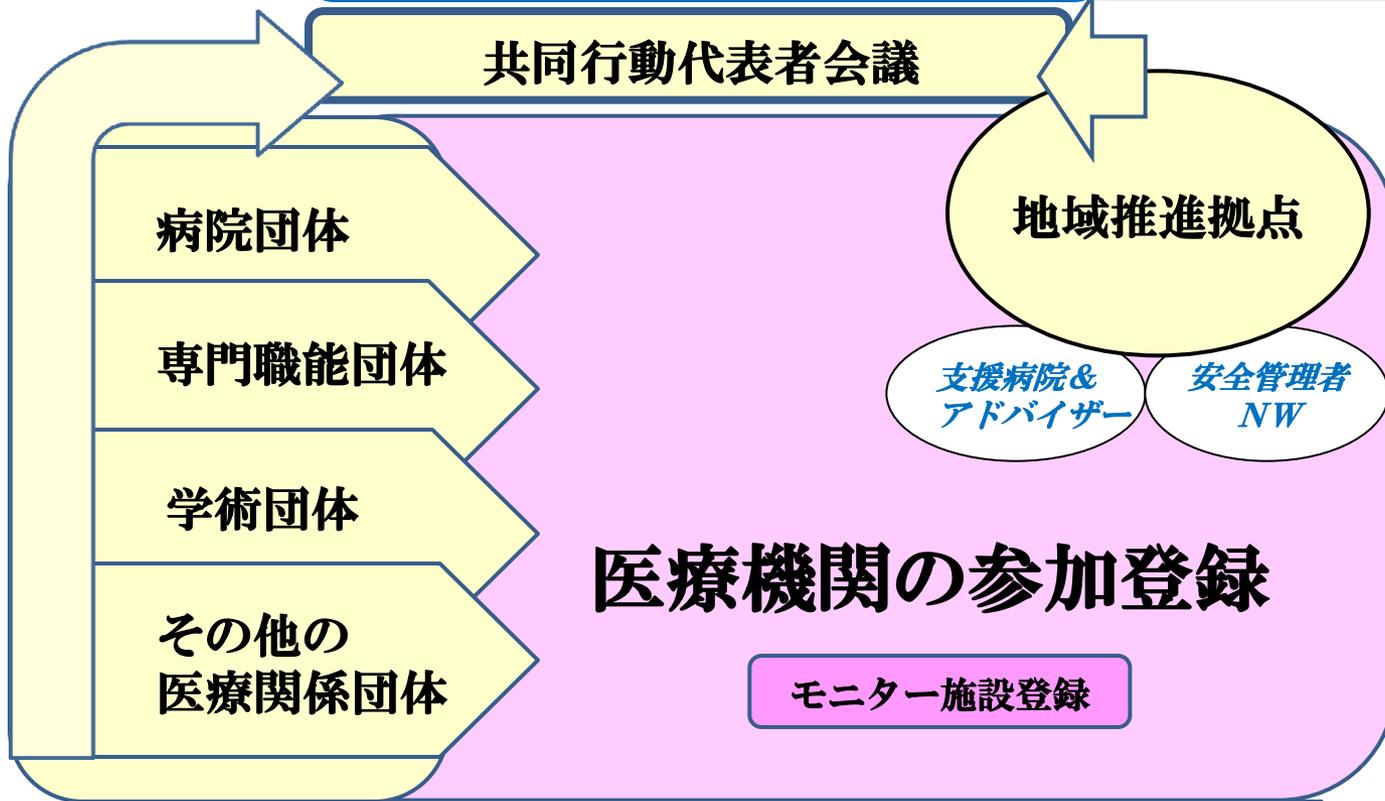
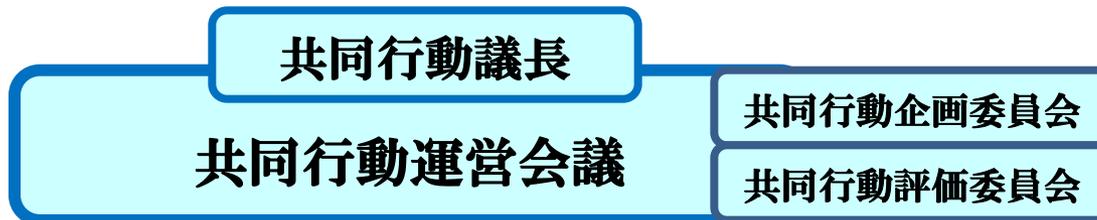
- 馬目 利昭 (馬目公認会計士事務所公認会計士)

## 【運営会議オブザーバー】

- 宮本 哲也 (厚生労働省医政局総務課医療安全推進室長)
- 野本 亀久雄 (日本医療機能評価機構特任理事)
- 河野 龍太郎 (自治医科大学教授)

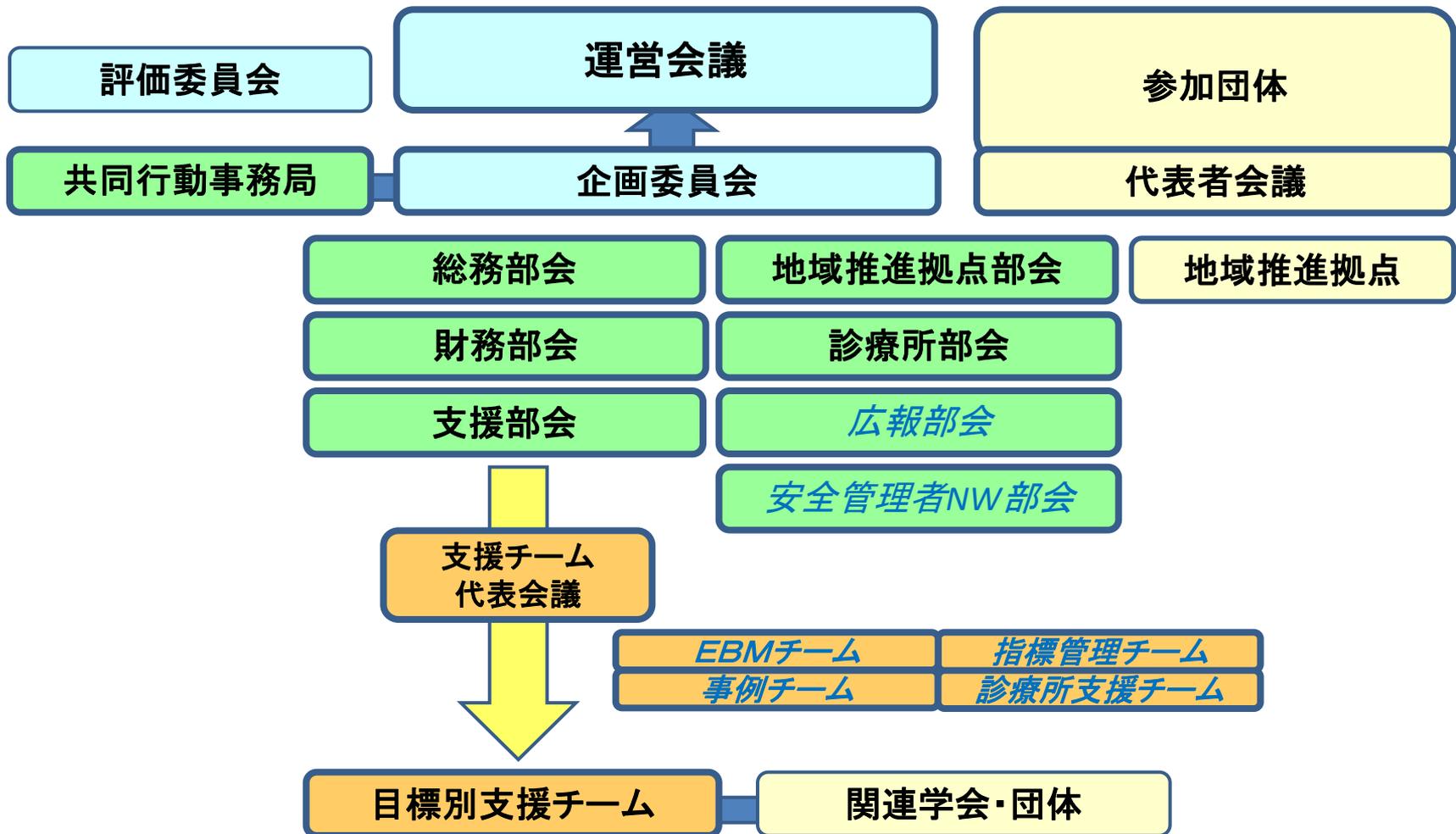
# 医療安全全国共同行動

“いのちをまもるパートナーズ”

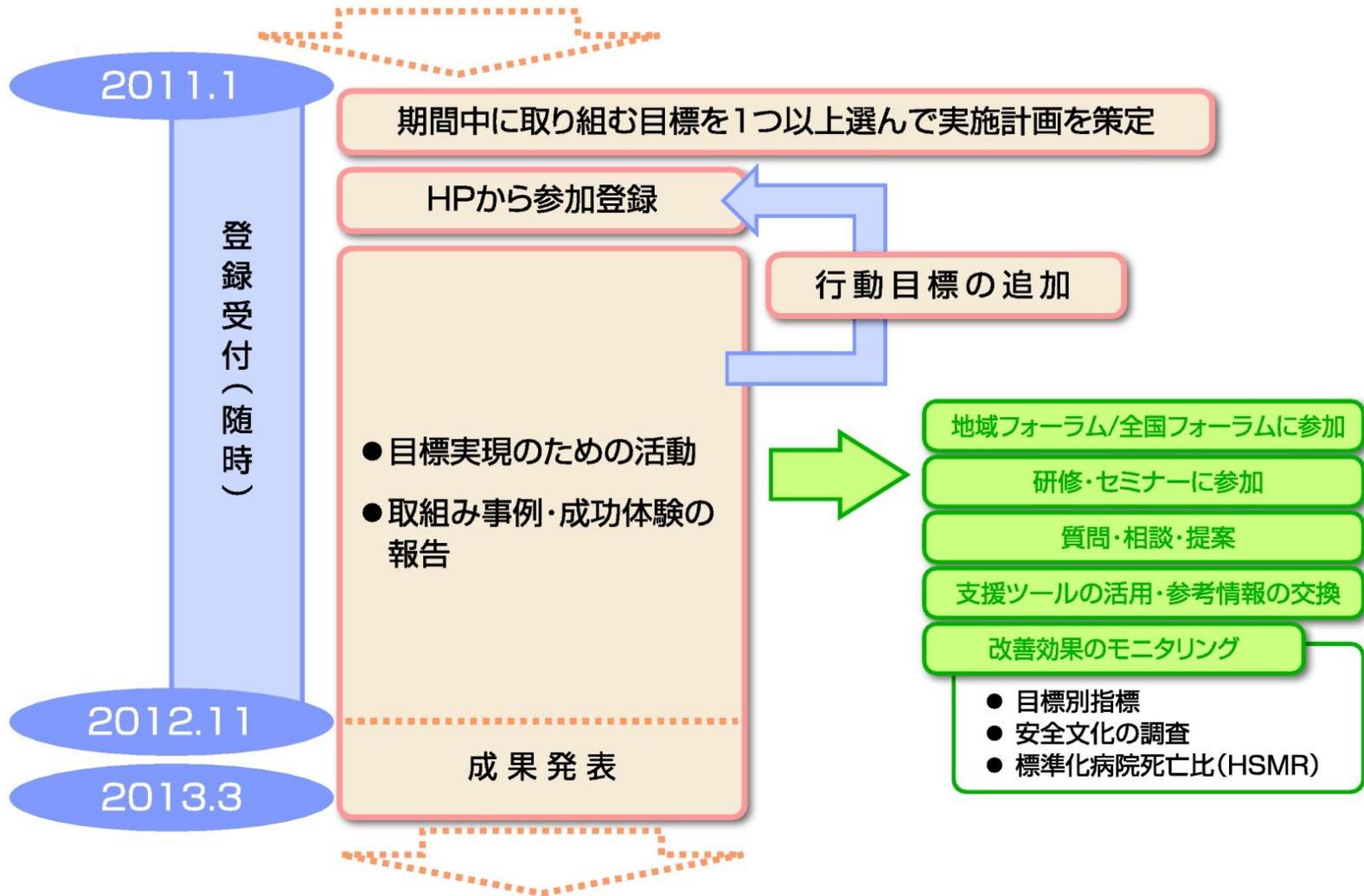


# 共同行動 企画委員会

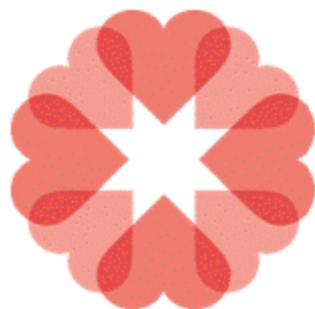
- 企画委員長 上原 鳴夫 (医療の質・安全学会副理事長)
- 診療所部会長 高杉 敬久 (社団法人日本医師会常任理事)
- 委員 溝渕 健一 (社団法人日本歯科医師会常務理事)
- 地域推進拠点部会長 神原 啓文 (静岡県病院協会会長)
- 支援部会長 小泉 俊三 (医療の質・安全学会理事)
- 総務部会長 佐藤 秀昭 (社団法人日本病院薬剤師会副会長)
- 財務部会長 本間 崇 (社団法人日本臨床工学技士会副会長)



# 医療安全全国共同行動 (2nd Stage 2011-12)



# 医療安全全国共同行動に参加しよう



いのちをまもる  
PARTNERS  
医療安全全国共同行動

<http://kyodokodo.jp/>

**2<sup>nd</sup> Stage**  
**2011-12**

